

三芳町で聖火をつなぐ

2020年3月12日(木)、ギリシャのオリンピアで採火された聖火——。1年間の保管を経て、2021年3月25日(木)から始まった聖火リレーで世界と日本をつなぎ、7月6日(火)、三芳町を駆け抜けました。今月の広報は特別号。三芳町の歴史の1ページとなる聖火リレーを振り返ります。

①つるせ西ゆうゆうの丘公園（富士見市）をスタートした中谷奏空さんと三芳町在住の三木峻翔さんのトーチキス（聖火ランナーが次の聖火ランナーに聖火を受け渡すこと）。三木さんは鶴瀬西交流センター（富士見市）前からみらい通りを走りました。②④ランナーを勤める喜びにあふれ、笑みをこぼす三木さん。⑤バスの中から沿道の観戦者に手を振る三木さん。聖火を次のランナーに託した後も地元住民の応援に応えました。③⑥⑦⑧三芳町を駆け抜けたのは9人の聖火ランナー。和太鼓・暁や三芳中学校吹奏楽部の演奏、沿道の声援を受けてみらい通りから川越街道を抜け、ゴールのふじみ野市まで聖火をつなぎました。



Photo by Tokyo 2020

